

道央広域連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[暮らし・安心 関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、地域住民と事業者が連携した「北海道スタイル」の促進
- ・今後の感染症治療の対応も考慮した地域における医療連携や救急医療体制の充実などによる医療提供体制のより一層の充実
- ・新規学卒者等の地元就職・定住の促進
- ・若者の地元定着や出産・子育てをしながら働き続けられる環境づくり等に向けたテレワークをはじめとした多様で柔軟な働き方の推進
- ・買い物支援、交通ネットワークの充実に向けた検討など、若者や子育て世代だけでなく、高齢者も健康で暮らしやすい環境づくりの促進
- ・国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材やシビックプライドの醸成などを通じた地域に根ざした食育の推進による次世代リーダー等、地域を支える多様な人材の育成や確保
- ・首都圏で生活する幅広い世代に向けて地域の魅力の発信や移住に関する関係団体とのネットワークの構築、移住相談、移住体験（ちょっと暮らし等）やワーケーションなどによる関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進
- ・防災・減災、国土強靱化に資するインフラの整備や、地域防災マスターや自主防災組織の育成、感染症対策を踏まえた避難所運営などによる地域防災力の強化

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	<p>「生産空間」の維持・発展と多様な人材の確保・対流を支える地域づくりプロジェクト</p> <p>人口減少・高齢化が急速に進展する中、地方部における定住環境を確保し、「生産空間」から都市部に至るまで人々が長期にわたって住み続けられる北海道型地域構造の保持形成のため、地方部の市街地、圏域中心都市を結ぶ交通・情報ネットワークを構築し、生活機能の維持・確保を図ります。</p> <p>また、地域の価値創造力の向上のため、多様な人々の交流やコミュニケーションを促進し、地域づくり人材の発掘・育成を進めます。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト</p> <p>○安心して子どもを生き育てられる”いしかり”環境づくり促進プロジェクト</p> <p>○石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト</p> <p>○ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト</p> <p>○住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト</p> <p>○「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト</p>	<p>○ 活力ある地域を支援する交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産空間、市街地、基礎圏域中心都市を結ぶ高規格道路等の広域交通ネットワークの整備 住民の日常生活に必要な医療、買物、教育等の生活サービスにアクセスするための幹線道路の整備推進 国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 交差点の右折だまりといった交通安全施設の整備等による交通事故対策の推進 <p>○ 冬期交通の移動性及び信頼性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪国の生活を支える幹線道路交通の安全の確保 冬期間における高齢者の安全な暮らしを支える道路管理の推進 <p>○ 地域資源を活用した生産空間の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅等を活用した生産空間の利便性向上、地域コミュニティ創出や他地域との交流促進等を支援 <p>○ 散居形態を成す生産空間における生活機能を維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者負担や運営コスト、担い手確保等の面で持続可能な人流・物流システムの構築 通院、買物、通学等の交通需要に対応する地域公共交通の導入・維持・再編 <p>○ 北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」の推進 <p>○ 多様な地域づくり人材の発掘・育成の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりに取り組む多様な人材の発掘と地域間交流の促進を目的としたフォーラムや勉強会の開催等により、地域づくりの担い手育成や確保の支援を行う「地域パートナーシップ活動」の推進 	<p>(国、道、市町村)</p> <p>(国)</p> <p>(国・道・市町村・民間)</p> <p>(国・市町村・民間)</p> <p>(国)</p> <p>(国・道・市町村)</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道央圏連絡道路 中樹林道路 一般国道12号 峰延道路 一般国道230号 定山溪拡幅 一般国道275号 江別北道路 一般国道452号 盤の沢道路 交通安全対策事業の実施 協働型道路マネジメントの実施 <p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市） 一般国道229号 島牧防災 交通安全対策事業の実施 協働型道路マネジメントの実施 <p>【地域振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域パートナーシップ活動 <p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） 一般国道274号 清瀬防災 一般国道453号 蟠溪道路 交通安全対策事業の実施 協働型道路マネジメントの実施 <p>【地域振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 縄文文化を通じた国際的な価値創造に向けた取組 白鳥大橋を活用したインフラツーリズム

<p>国</p> <p>強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤づくりプロジェクト</p> <p>気候変動等に伴う異例の水害・土砂災害の局地化・集中化・激甚化や、地震、津波、火山噴火等による被害に対応するため、ハード・ソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を推進します。</p> <p>また、国家的規模の災害時における後方支援等のバックアップ機能の確保を推進するとともに、交通基盤等の整備と併せて、今後急速に進むインフラの老朽化対策への戦略的な取組を推進します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト</p> <p>○自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる”いしかり”まちづくりプロジェクト</p>	<p>○ 道央圏の産業と安全で活力ある地域づくりを支える治水事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩川本支川の丘陵堤等堤防整備、河道掘削の推進 北村遊水地の整備推進 近年発生した災害を踏まえた緊急的治水対策の推進（幌向地区、鶴川、沙流川） 尻別川における治水対策の推進 流域治水協議会において、流域のあらゆる関係者が協働してハード・ソフト一体の水防災対策「流域治水」の推進（流域治水プロジェクトの推進） 気候変動を踏まえた河川整備計画の見直しに向けた検討実施 千歳川流域治水対策協議会において内水対策等の対応方針について確認 雨竜川ダム再生事業の実施計画調査の実施、雨竜川河川整備計画の見直しに向けた検討実施 減災対策協議会において水防災意識社会再構築の取組推進 関係自治体タイムライン作成の支援 洪水ハザードマップ作成の支援 	<p>(国・道)</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩川本支川の堤防整備及び河道掘削の実施 北村遊水地の用地補償、囲ぎよう堤、周囲堤盛土、補償工事等の実施 幌向川地区の堤防整備等や橋梁架け替えに向けた調査検討の実施 千歳川の堤防整備、堤防整備に伴う補償工事・附帯工事の実施 豊平川及びその支川の河道掘削、河道整正等の実施 豊平川の砂防堰堤整備等の実施 幾春別川総合開発事業の新桂沢ダム本体工事、付替道路工事等の実施 <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道央圏連絡道路 中樹林道路 一般国道452号 盤の沢道路 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施 <p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施 自治体等との防災情報交換の実施 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施
	<p>○ 頻発する自然災害に対応する千歳川流域の治水対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 千歳川流域の治水対策の推進 遊水地群の整備促進 千歳川流域治水対策協議会など関係機関と一体となった内水対策・流域対策の推進 	<p>(国・道・市町村・民間)</p>	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施 自治体等との防災情報交換の実施 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施
	<p>○ 道都札幌の都市機能を守る防災対策の推進（豊平川）</p> <ul style="list-style-type: none"> 環域的な被害を防止するための治水対策の推進 集中豪雨等による土砂災害対策の推進 札幌市と協働・連携した防災・減災対策の推進 	<p>(国・道・札幌市・民間)</p>	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施 自治体等との防災情報交換の実施 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施
	<p>○ 洪水調節とともに、安全で良質な水を安定確保する施設整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 幾春別川総合開発事業の推進 沙流川総合開発事業の推進 関係機関等と連携・協働した既存ダムの活用 	<p>(国・道・市町村・民間)</p>	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施 自治体等との防災情報交換の実施 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施
	<p>○ 海岸浸食に伴う波浪災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸浸食や越波被害を軽減するための胆振海岸保全事業の推進 	<p>(国・道)</p>	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施 自治体等との防災情報交換の実施 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施
	<p>○ 災害等に対応した道路環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替性確保のための高規格道路等の整備 国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 安全・安心な道路交通の確保のための効率的な防災・減災対策の推進 橋梁、トンネル等の道路施設の老朽化対策の推進 避難道路・避難場所の確保 冬季の安全な道路通行を確保するために、豪雪・雪崩対策や地吹雪等による視程障害を防止する対策を推進 	<p>(国・道・市町村・ネクスコ)</p>	<p>小樽開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水氾濫を未然に防ぐ対策（尻別川） <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市） 一般国道229号 島牧防災 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施
	<p>○ 港湾施設の戦略的な維持管理・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の老朽化対策 	<p>(国・港湾管理者)</p>	<p>小樽開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水氾濫を未然に防ぐ対策（尻別川） <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市） 一般国道229号 島牧防災 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施

	<p>○ 北国の歴史的建造物の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> 土木学会選奨土木遺産・北海道遺産である歴史的防波堤等の機能を確保しつつ、次世代への継承を図る（小樽港） 	<p>（国・小樽市）</p>	<p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小樽港本港地区防波堤整備事業の推進 岩内港老朽化対策事業の推進 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供 自治体等へ排水ポンプ車、照明車の操作訓練の実施 自治体等との防災情報交換の実施
	<p>○ 大規模地震及び津波等に対する防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の耐震性能を向上させるために、橋梁の架替や耐震補強を推進 緊急輸送道路における無電柱化の推進 地震発生時の緊急輸送拠点機能の確保と航空ネットワークの維持、北海道内における経済活動の継続性確保に必要な空港施設の耐震対策の強化 耐震強化岸壁を配置した臨海部等防災拠点の整備の推進 地震・津波等の自然災害に対する防災拠点、物流機能維持としての施設の整備 波浪・高潮等の自然災害に対する物流機能維持のための施設の整備 	<p>（国）</p>	
	<p>○ 火山の噴火や地震、気象を起因とする土砂災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山泥流等による災害を防止するための樽前山火山砂防事業の推進 大規模土砂災害に対する緊急管理体制の強化 	<p>（国・道）</p>	<p>室蘭開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水氾濫を未然に防ぐ対策、危機管理型ハード対策の整備（鶴川、沙流川） 平取ダム建設（R3年度完成予定） 砂防設備の整備（樽前山直轄火山砂防、厚真川水系直轄砂防）
	<p>○ ハード・ソフトと一体となった総合的な防災・減災対策及び復旧・復興対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災情報を迅速かつ確実に伝達・共有するための情報・通信手段の整備 ハザードマップ作成の支援及び自治体等を対象とした防災訓練等の実施 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）及び現地情報連絡員（リエゾン）の派遣等による広域支援体制の強化 港湾物流の代替性確保のための広域連携体制の強化 災害直後からの応急対策や復旧・復興拠点となる施設の整備 大規模災害発生時の広域支援体制の強化 災害対策機械の関係機関操作訓練の実施 防災情報インフォメーションの配信による防災意識向上の取組の推進 	<p>（国・道・市町村・港湾管理者・民間）</p>	<p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） 一般国道276号 苫小牧新中野電線共同溝 一般国道274号 清瀬防災 一般国道453号 蟠溪道路 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施 雪崩対策 自治体が管理する道路施設の直轄修繕代行（白老橋）の実施 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の安全・安心な生活を確保する臨海部防災拠点の整備（苫小牧港） 港湾利用の安全性と効率性を確保する防波堤の整備（白老港、浦河港） 道央圏港湾BCP、太平洋側港湾BCPの推進 港湾機能の維持を図るための防波堤等の延命化対策（室蘭港、苫小牧港、えりも港） <p>【海岸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 白老人工リーフ整備 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域防災フロートの活用 防災力向上に向けた各種取組の推進

道	<p>空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト</p> <p>道内の中でも、特に厳しい人口減少が続く空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心して住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めるほか、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成を図りながら次世代リーダーを育成するとともに、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する一体的な情報発信などによる移住・定住対策や、ワーケーションなど多様で柔軟な働き方の受入体制の確保など、関係人口の創出・拡大を図ります。</p> <p>■推進エリア 空知地域</p>	<p>○ 「北海道空知地域創生協議会」による総合的なプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道空知地域創生協議会による「空知」の知名度向上に向けた道内外における戦略的な情報発信 移住・定住に向けた、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する団体との情報共有と一体的な情報発信及び移住相談・体験の促進 ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 	<p>(国、道、市町、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光拠点へのアクセス道路の整備推進 自転車道や案内標識の整備推進 Wi-Fiスポットの整備促進 <p>○災害に備えた安全な道路交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路等の整備推進
		<p>○ 安心して住み良いまちづくりに向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、地域住民と事業者が連携した「新北海道スタイル」の推進 広域的な感染症治療も考慮した地域における医療連携や救急医療体制の充実 安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の形成 関係機関の連携による防災体制の強化 地域の実情に応じた地域交通ネットワークの維持・確保のための取組の促進 集落対策の促進、コミュニティの活性化 		
		<p>○ 新規高卒者の地元就職の促進による雇用対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着 都市圏から管内への人材誘致・定着に向けた取組の促進 移住・定住に向けた、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する団体との情報共有と一体的な情報発信及び移住相談・体験の促進 障がいのある方の農業就労の場の確保に向けた農福連携の取組の推進 ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 		
		<p>○ 地元住民のシビックプライド醸成及び「空知を育てる」次世代リーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 振興局と管内自治体、民間企業などと連携し、シビックプライドを醸成するなど「関係人口」の創出・拡大に向けた取組の推進 地域に根ざした食育の推進による次世代リーダーの育成 「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進や地域課題探究型の学習体験を通じてまちづくりを牽引する地学協働体制の構築 		

<p>道</p>	<p>安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト</p> <p>少子化などによる地域活力の低下に歯止めをかけるため、都市地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、地域で出産・子育てを支え見守る取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施します。</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 出産・子育てを地域で支える環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育てに関する意識醸成と支援体制の充実 ・結婚への関心を高める取組とサポート ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり <p>○ 働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立支援など就業改善の取組への機運醸成 ・子育て支援を含む働き方改革に積極的な企業等を対象とする認定制度の推進 	<p>(道、市町村、民間)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援住宅の普及促進など子どもを安心して育てられる環境づくり ・保育所などの老朽施設の更新や新たなニーズに対応できる施設の整備
<p>道</p>	<p>石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト</p> <p>若者の道外への人口流出を抑制するため、石狩地域に立地する多数の大学等の教育機関をはじめ、市町村や地元企業等との連携により、新規学卒者等の地元就職・定住の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組みます。</p> <p>特に、首都圏など道外から人を呼び込むため、道外企業や学生に向けて石狩地域で生活する魅力の発信に加え、新たな生活様式に対応した働き方である、管内におけるサテライトオフィス設置の促進等、テレワーク環境整備の提案などを行い、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組みます。</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 若者の地元定着・就業に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元定着の促進に向けた取組 ・地域の連携による若者の地元就業に向けた支援と早期離職防止の取組 <p>○ 地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の推進と次世代の石狩農業を担う人材の確保・定着に向けた取組 ・農村ツーリズムの振興と地産地消の推進 ・道外企業の本社機能の地方移転の促進 ・ものづくり産業への支援を始めとした中小企業の振興と企業誘致の促進 ・地域資源を活かした6次産業化・農商工連携の推進 <p>○ 道外からのU・I・Jターンの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住促進のための効果的な情報発信 ・移住促進に向けた相談サポート ・テレワーク環境整備の促進 ・サテライトオフィス設置の促進 	<p>(道、市町村、民間)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・優良農地の維持や農業生産性の向上を図るための農地整備の促進 ○健全な森林の整備と保全の推進 ・森林の有する多面的機能を高度に発揮させるための森林整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁業生産活動や水産物流通の拠点となる漁港・漁場の整備促進

道	<p>自然環境と調和した 誰もが安心して暮らせる “いしかり” まちづくりプロジェクト</p> <p>少子・高齢化の進展に伴う人口の自然減少等により、今後、地域活力の低下が予想される中でも、地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いまちづくりに取り組みます。</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 豊かな自然環境を守り育てる取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林づくりボランティア活動の推進と人材育成及び木育の推進 ・エゾシカなどの鳥獣による被害状況等の把握と情報共有・助言など ・鳥獣や外来種による農林業被害防止対策の推進と狩猟者維持・担い手の確保 ・省エネルギー・新エネルギーの導入促進に向けた情報共有と支援 ・脱炭素型ライフスタイルの定着に向けた住民理解の促進 ・廃棄物適正処理、不法投棄等撲滅に向けた取組及び3Rの推進 <p>○ 誰もが安心して暮らせる社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や事業者との連携による新型コロナウイルス感染拡大防止対策の推進 ・高齢者の見守りや地域包括ケアシステムの推進、障がい者の自立支援、子育て支援の充実や外国人との共生など地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組 ・高齢者のニーズに応じた住まいづくりの促進 <p>○ 防災対策の強化による安全なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた社会資本の整備 ・防災教育の強化や自主防災組織の活性化に向けた取組の推進 ・災害時における避難支援対策の推進 ・関係機関との連携強化による防災体制の整備 ・土砂災害警戒区域等の指定 ・行政機能の業務継続体制の確保 ・感染症対策を踏まえた避難所運営による地域防災力の強化 	<p>(国、道、市町村、民間)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル・廃棄物処理施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理・資源化する施設の整備 ・一般廃棄物処理・資源化する施設の整備 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・河川環境の再生に配慮した河川・砂防施設の整備 ○持続可能なコンパクトなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・既存公営住宅の改善整備の推進 ○国内海上交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い海上輸送ネットワークの構築を図るための港湾機能の強化 ○災害に備えた安全な道路交通環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い交通ネットワークの整備促進 ○洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・河川や砂防などの治水施設の整備促進
---	---	---	---------------------	---

道	<p>ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト</p> <p>国内外からの観光客が多く訪れているニセコ周辺地域では、冬季間のみスキー場やホテル等の関連施設の就業者が多数存在しており、こうした豊富な労働力を、農林水産業をはじめとする夏季に人手不足となっている業種とマッチングするなど、短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保や、道内外や国外からの移住・定住を促進するため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行います。</p> <p>また、年間を通して外国人が多く滞在するという環境を活かし、国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材を育成し、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組むとともに、ワーケーションの推進などによる関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた「まち・ひと・しごと」づくりの取組を推進していきます。</p> <p>■推進エリア 後志地域</p>	<p>○ 冬季のリゾート地域の労働力を夏季の農業等における人手不足分野に結びつけることを通じて、通年雇用化等による定住を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介所の開設による就業相談の実施 ・移住フェアなど後志をPRする場への出展等 ・通年滞在に必要な情報を総合的に提供するワンストップ窓口の設置 <p>○ 年間を通じて多くの外国人が滞在する環境を活かした国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成・多文化共生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や英語実践機会等の創出 ・外国人とのコミュニケーション等を通じた人材育成 ・外国人住民向け日本語教室の実施等の支援 	<p>(国、道、市町村、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p>
---	---	---	-------------------------	---------------------

道	<p>住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト</p> <p>胆振地域には、北海道いぶり五大遺産（洞爺湖有珠山ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜、炭鉄港）、ウポボイ、日本有数の温泉地など特色ある豊かな地域資源があります。こうした地域の強みを活かし、関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大に取り組めます。</p> <p>また、地域の未来を支える人材の確保・育成や、胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりを推進します。</p> <p>■推進エリア 胆振地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を活用した関係人口の創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な地域資源（北海道いぶり五大遺産、ウポボイ、食資源等）のさらなる磨き上げ及び情報発信の強化 ・ウポボイ開設効果の持続発展と広域連携による周遊観光の促進 ・北海道いぶり五大遺産の活用による教育旅行の誘致やアドベンチャートラベルなどの体験型観光の促進 ・いぶり型ワーケーションの取組による関係人口の創出・拡大 ・地域おこし協力隊等との連携による移住・定住の促進 ・岩手県三陸地域との交流を通じた取組の推進 ○ 地域の豊かな食材の魅力発信や販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術の利活用による新鮮・多彩な一次製品の生産・流通の促進 ・特色ある食材を活かした商品・メニュー開発及びブランド化の推進、国内外への販路拡大 ○ 地域の未来を支える人材の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携した人材確保対策の推進、就業体験機会等を通じた地域産業の魅力発信 ・管内企業の技術力の情報発信等によるものづくり産業の担い手確保・育成 ・就業しやすい環境づくりによる農林水産業の担い手確保・育成 ・すべての子どもたちが健やかに育つことができる環境づくり ・ふるさとへの誇りと愛着を育むふるさと教育の推進 ○ 胆振東部地震からの復旧・復興の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の持続的な振興をはじめとした、復旧・復興方針に基づく取組の推進 ・移住・定住の取組の推進や、地域資源の磨き上げ・活用による被災地域への人の呼び込み強化 	(国、道、市町村、民間、NPO)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・水田・畑・草地や農業用施設の整備推進 ○農地や農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業用施設の機能回復 ・農地及び農業用施設の災害を未然に防止するための施設の整備推進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港、漁場などの整備促進 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス道路や休憩施設の整備
道	<p>「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト</p> <p>日高地域では、地域を支える基幹産業である一次産業をはじめとする各産業で人材不足が課題となっています。</p> <p>これらの課題に対応するため、各産業における人材確保・育成の対策を講じるほか、将来の人材を確保するため、教育機関と連携・協働を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指します。</p> <p>■推進エリア 日高地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一次産業をはじめとする各産業の担い手等の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・管内外の就業希望者への情報提供、短期就業体験の実施 ・新規就業者への研修や技術指導、給付金の交付などによる支援の実施 ・地域の受入体制の整備や関係団体の取組の推進 ・住民と外国人が互いの文化等を理解・尊重し合うことができる多文化共生社会の理解促進 ○ 教育機関と連携・協働した人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップや就業体験の実施 ・馬文化出前教室の開催や調理を学ぶ学生への日高産水産物の提供、就業フェア等による地域産業への理解の促進 ○ 移住・定住の促進に向けた住環境などの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策等による住居の確保 ・地域医療の確保や福祉の充実、災害に強い地域づくり、教育などの充実などによる生活環境の整備 ・地域づくりの主体となる人材の育成・確保 ・SNS等のインターネットを活用した一元的な情報発信などによる、管内各町、団体等と連携した移住・定住の促進 ・地域住民の生活を支える公共交通の維持確保と利用促進 	(国、道、町、民間)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁村づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港整備 ○水産資源の増大等に向けた施設づくり <ul style="list-style-type: none"> ・増養殖場の造成、漁場の整備 ○健全な森林整備と保全の推進 ○高規格道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道の整備促進

[環境・人と自然の共生 関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 豊かな自然環境と調和した持続可能な社会の構築
 - ・ 雪氷冷熱や良質な農産物など地域の特性を活かした企業や研究機関等の誘致に向けた取組の促進
 - ・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、木質バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーの導入など脱炭素化の取組の促進
 - ・ 廃棄物の発生抑制や再利用、資源化の推進、環境保全意識の醸成等、循環型社会の実現に向けた取組の促進
 - ・ 多様な主体の参画による木育活動の推進
 - ・ 希少野生動植物等の保護や外来種対策など、生物多様性の保全と持続可能な利用を図るため、人と自然が共生する地域づくりの推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
<p>国</p>	<p>恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域づくりプロジェクト</p> <p>北海道の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、生態系ネットワーク形成の視点に立ち、湿地の保全・再生、森林の適切な整備等、循環型社会の形成、脱炭素化及び健全な水循環の維持・回復等に取り組みます。</p> <p>また、再生可能エネルギーの導入や水素技術の活用等による環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現に向けて取り組みます。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト ○自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる”いしかり”まちづくりプロジェクト ○脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト 	<p>○ 自然と共生する水環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩川下流における自然再生事業の推進 ・鶴川河口干潟の保全・再生 ・多自然川づくりの推進（石狩川、尻別川、鶴川、沙流川） ・舞鶴遊水地を軸とした生態系ネットワークの形成を推進 ・海岸保全施設の整備による海洋生物の生息環境の向上（胆振海岸） <p>○ 地域との協働による水環境対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨戸川清流ルネッサンスⅡによる水環境改善の推進 <p>○ 地域との協働などによる植樹活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「石狩川流域300万本植樹運動」等の推進 <p>○ 地域との協働による道路植樹の維持管理活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の植樹の維持管理を推進 <p>○ 脱炭素化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷が少ない交通体系の構築 ・渋滞対策の推進 ・自転車走行環境の整備促進 ・各種インフラ施設における再生可能エネルギーの生産・利活用 ・海岸保全施設の整備によるブルーカーボン生態系の創出（胆振海岸） ・グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり 	<p>（国・道・市町村・民間）</p> <p>（国）</p> <p>（国・道・市町村・ネクスコ・民間）</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幌向地区の湿地環境保全対策のモニタリング及び検証 ・石狩川下流旧川群の保全、再生、利活用に向けた検討実施 ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（石狩川） ・茨戸川清流ルネッサンスⅡのモニタリング及び検証 ・石狩川流域300万本植樹運動の推進（道・市町村・市民団体等と連携） ・千歳川流域における生態系ネットワークの形成 <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道央圏連絡道路 中樹林道路 ・一般国道12号 峰延道路 ・一般国道230号 定山溪拡幅 ・一般国道275号 江別北道路 ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討 ・協働型道路マネジメンツの推進 <p>小樽開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（尻別川） <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倶知安余市道路（倶知安～共和） ・倶知安余市道路（共和～余市） ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討 ・協働型道路マネジメンツの推進 <p>室蘭開発建設部</p> <p>【治水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴川河口干潟の保全・再生の検討 ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（鶴川、沙流川） <p>【海岸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白老人工リーフ整備 <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討 ・協働型道路マネジメンツの推進 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港）

道	<p>未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト</p> <p>管内産業の持続的な発展に向けては、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」の中でも示されているICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していきます。</p> <p>併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組みます。</p> <p>■推進エリア 空知地域</p>	<p>○ 地域の特性を活かした企業や研究機関等の誘致に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携し、雪氷冷熱や良質な農産物など地域特性を活かした企業や、試験研究機関等の誘致促進並びに農作物の高付加価値化など、貯蔵機能の向上に向けた取組の促進 「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、木質バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーの導入など脱炭素化の取組の促進 都市圏から管内への人材誘致・定着に向けた取組の促進 地元の新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着 ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 	(国、道、市町、民間、NPO)	【関連する主な基盤整備】
道	<p>自然環境と調和した 誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト【再掲】</p> <p>少子・高齢化の進展に伴う人口の自然減少等により、今後、地域活力の低下が予想される中でも、地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いま</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 豊かな自然環境を守り育てる取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林づくりボランティア活動の推進と人材育成及び木育の推進 エゾシカなどの鳥獣による被害状況等の把握と情報共有・助言など 鳥獣や外来種による農林業被害防止対策の推進と狩猟者維持・担い手の確保 省エネルギー・新エネルギーの導入促進に向けた情報共有と支援 脱炭素型ライフスタイルの定着に向けた住民理解の促進 廃棄物適正処理、不法投棄等撲滅に向けた取組及び3Rの推進 <p>○ 誰もが安心して暮らせる社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や事業者との連携による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進 高齢者の見守りや地域包括ケアシステムの推進、障がい者の自立支援、子育て支援の充実や外国人との共生など地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組 高齢者のニーズに応じた住まいづくりの促進 <p>○ 防災対策の強化による安全なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えた社会資本の整備 防災教育の強化や自主防災組織の活性化に向けた取組の推進 災害時における避難支援対策の推進 関係機関との連携強化による防災体制の整備 土砂災害警戒区域等の指定 行政機能の業務継続体制の確保 感染症対策を踏まえた避難所運営による地域防災力の強化 	(国、道、市町村、民間)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル・廃棄物処理施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物を処理・資源化する施設の整備 一般廃棄物を処理・資源化する施設の整備 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> 河川環境の再生に配慮した河川・砂防施設の整備 ○持続可能なコンパクトなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> 既存公営住宅の改善整備の推進 ○国内海上交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い海上輸送ネットワークの構築を図るための港湾機能の強化 ○災害に備えた安全な道路交通環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い交通ネットワークの整備促進 ○洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 河川や砂防などの治水施設の整備促進

道	<p>脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト</p> <p>胆振地域は、鉄鋼や自動車関連などの「ものづくり産業」が集積する産業拠点が、国際拠点港湾や近隣に道内最大の空港を有した本道経済をリードする地域である一方、豊かな自然環境に恵まれ、太陽光や風力、バイオマス、地熱といった豊富に賦存する多様なエネルギー源の活用ほか、水素の活用や二酸化炭素の分離・回収・貯蔵に関する実証試験など、脱炭素型社会の実現に向けた取組を積極的に進めている地域です。</p> <p>こうした胆振の地域特性を活かし、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組みます。</p> <p>■推進エリア 胆振地域</p>	<p>○ 多様なものづくり産業拠点の形成促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり産業拠点の重層化 自動車関連企業などの立地促進 脱炭素社会構築を通じた新たな産業・雇用の創出 <p>○ 産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統、先端技術の集積等の地域の強みを活かした産業の振興 脱炭素社会構築を通じた新たな産業の育成・振興 恵まれた物流アクセス環境を活かした移輸出拡大 <p>○ 再生可能エネルギーの普及や自然環境の保全などによる脱炭素化への取組促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光、風力などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用に向けた機運醸成 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換に向けた普及啓発 地域住民や企業との協働による自然環境の保全に向けた取組の促進 計画的・効率的な造林や間伐、地域材の利用拡大など森林資源の循環利用の推進 	<p>(国、道、市町村、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路と一体となった道路網の整備促進 ○産業拠点の形成に向けた施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 地域の優位性を活かした企業立地を一層促進するための基盤整備 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ○健全な森林の整備と保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> 森林の有する多面的機能を高度に発揮させるための森林の整備促進
---	---	---	-------------------------	---

[地域を支える産業 関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 地域の特徴を活かした多種多様な農林水産業の展開

- ・生産性向上に向けた農業生産基盤の整備、ロボット、ドローンなどICT・AIなどを活用したスマート農業の導入、法人経営の育成・推進などによる地域農業の体質強化
- ・地域の特徴ある農林水産物やこれらの加工品のブランド力の強化と農水産物をベースとした6次産業化や農商工の連携の推進、国内外への販路拡大
- ・食・滞在・体験等を提供する農村ツーリズムを通じた都市・農村交流の促進
- ・地産地消等の推進による地域の農産物の消費拡大
- ・新規就業者の育成・確保、高齢者や女性、農福連携など障がいのある方の就労に配慮した環境整備、ICTを活用した作業の省力化
- ・エゾシカやヒグマ、アライグマなどの鳥獣被害防止に関し、広域的に連携した対策による農業経営の安定化
- ・秋サケやホタテガイ、ウニ、ナマコ、コンブなどの栽培漁業の一層の推進と適切な資源管理の促進
- ・生産性向上などによる漁業経営の収益性向上や地域を主体とした新規就業者の受入体制づくり
- ・鮮度保持施設の整備などの安全で良質な道産水産物の安定供給と各種イベントをはじめとした消費拡大の取組の推進
- ・地域の特性に応じた森づくりの推進と、森林整備に伴い産出される道産木材の高付加価値化及び有効活用の促進、地材地消の推進などによる森林資源の循環利用の確立

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
<p>国</p>	<p>食と農林水産業を支える地域づくりプロジェクト</p> <p>食料供給力の向上を図るとともに、担い手の確保や収益性の向上など農林水産業の持続的発展のため、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保や漁港の整備、国内及び海外への販路拡大に向けた取組を推進します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト ○ 石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト ○ 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト ○ 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト 	<p>○ 食料の安定生産と品質向上等に向けた農業用水の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用水利施設の更新・整備を行い、食料の安定生産に向けた用水確保 ・ 良質米生産や畑作等の用水需要に即した、用水利用期間などの検討 <p>○ 食料の生産性向上と多様な農業展開に向けた排水網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の排水網の点検・整備を行い、排水被害の解消等による生産性や品質の向上 ・ 水田の畑利用時の小麦、大豆などの単位当たり収量の増加等により多様な農業展開に向けた条件を整備 <p>○ 食料の効率的な生産に向けたほ場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほ場の大区画化やほ場と一体的な排水網の整備を行い、営農作業の効率化や高付加価値化に向けた環境整備に寄与 ・ ほ場整備と併せて、換地や担い手への農地集積を行うことにより、新規就農者や農業生産法人など地域の多様な担い手確保及び営農の継続に必要な幅広い経営安定に向けた環境整備に寄与 <p>○ 水産基盤・港湾の整備による食料供給力の強化と自給率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港・港湾整備等による水産物の競争力強化 ・ 水産物の安定的な供給を確保するためのつくり育てる漁業を支援する漁港の整備 ・ 安全で安心な水産物供給体制を確保するための衛生管理型漁港の整備 ・ 地域マリンビジョンにおける水産物のブランド化や担い手確保対策等の支援 <p>○ 農水産物等の移輸出拡大に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「北海道国際輸送プラットフォーム」（小口混載貨物輸送）の推進 	<p>(国・道・市町村・土地改良区)</p> <p>(国・市町村・港湾管理者・民間)</p> <p>(国)</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国営かんがい排水事業 北海道地区・幌加内地区・江別南幌地区・幌向川二期地区 ・ 国営施設応急対策事業 新雨竜二期地区・篠津青山地区・お茶の水地区 ・ 国営農地再編整備事業 南長沼地区・美唄茶志内地区 ・ 国営緊急農地再編整備事業 美唄地区・雨竜暑寒地区・岩見沢北村地区 ・ 岩見沢大願地区 ・ 国営総合農地防災事業 雨竜川下流地区 ・ 「わが村は美しくー北海道」運動 (「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など) <p>小樽開発建設部</p> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国営緊急農地再編整備事業(ニセコ地区) ・ 国営かんがい排水事業(中後志地区) ・ 「わが村は美しくー北海道」運動 (「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など) <p>【水産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄特定漁港漁場整備事業の推進 (古平・美園・寿都地区) <p>室蘭開発建設部</p> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国営かんがい排水事業 (勇払東部(二期)地区・新鶴川地区・大原二期地区・美河地区) ・ 国営緊急農地再編整備事業(伊達地区) ・ 直轄災害復旧事業(勇払東部地区・早来地区) ・ 「わが村は美しくー北海道」運動 (「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など) <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産物流の効率化を図る小型船だまり等の整備 (苫小牧港、浦河港、えりも港) ・ 北海道国際輸送プラットフォーム(HOP)の推進 <p>【水産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄特定漁港漁場整備事業 (追直・登別・三石・様似・庶野地区)

<p>道</p>	<p>未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト〔再掲〕</p> <p>管内産業の持続的な発展に向けては、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」の中でも示されているICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していきます。</p> <p>併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組めます。</p> <p>■推進エリア 空知地域</p>	<p>○ ICTの活用などスマート農業の推進による農業生産力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲低コスト・省力化栽培技術の普及や、ICTの活用に向けた実証試験などによるスマート農業の普及・促進 ・野菜、果樹、花など地域の特産品の生産維持に向けた取組の検討 ・農業生産法人化や新規就農者・後継者などの育成・確保に向けた取組の促進 ・地域に根ざした食育の推進による次世代リーダーの育成 ・障がいのある方の農業就労の場の確保に向けた農福連携の取組の推進 <p>○ 農産物ブランド化の推進、農産物をベースにした加工品づくりと付加価値向上及び国内外への販路開拓の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米をはじめ野菜、花などの空知産農産物や加工品のブランド化、販路拡大に向けた情報発信やPR活動の実施 ・6次産業化、農商工連携による付加価値の高い商品開発や人材育成への支援 ・醸造用ぶどうの生産拡大と良質なワインづくりへの支援による産地形成 ・輸出などによる販路開拓の促進 <p>○ 地域の特性を活かした企業や研究機関等の誘致に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携し、雪氷冷熱や良質な農産物など地域特性を活かした企業や、試験研究機関等の誘致促進並びに農作物の高付加価値化など、貯蔵機能の向上に向けた取組の促進 ・「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、木質バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーの導入など脱炭素化の取組の促進 ・都市圏から管内への人材誘致・定着に向けた取組の促進 ・地元の新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着 ・ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 <p>○ 仕事と生活情報の一体的な発信などによるものづくり産業人材の確保・定着に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏から管内への人材誘致・定着に向けた取組の促進 ・移住・定住に向けた、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する団体との情報共有と一体的な情報発信及び移住相談・体験の促進 ・移住者向けの住環境や子育て支援などの受入体制の充実 ・地元の新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着 ・障がいのある方の農業就労の場の確保に向けた農福連携の取組の推進 ・ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 	<p>(国、道、市町、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用排水施設の整備推進 ・区画整理や暗渠排水、客土等の農用地の整備推進 <p>○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設や農用地の機能回復の整備推進 ・農業用ため池の地震対策整備及び耐震診断の支援 <p>○農産物流通の合理化などのための農道の整備</p> <p>○高規格道路の整備</p> <p>○物流ネットワーク形成のための道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路と一体となった道路網の整備推進 ・空港、港湾などの物流拠点へのアクセス道路の整備推進
----------	---	--	------------------------	--

道	<p>石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト〔再掲〕</p> <p>若者の道外への人口流出を抑制するため、石狩地域に立地する多数の大学等の教育機関をはじめ、市町村や地元企業等との連携により、新規卒業者等の地元就職・定住の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組めます。</p> <p>特に、首都圏など道外から人を呼び込むため、道外企業や学生に向けて石狩地域で生活する魅力の発信に加え、新たな生活様式に対応した働き方である、管内におけるサテライトオフィス設置の促進等、テレワーク環境整備の提案などを行い、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組めます。</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 若者の地元定着・就業に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元定着の促進に向けた取組 ・地域の連携による若者の地元就業に向けた支援と早期離職防止の取組 <p>○ 地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の推進と次世代の石狩農業を担う人材の確保・定着に向けた取組 ・農村ツーリズムの振興と地産地消の推進 ・道外企業の本社機能の地方移転の促進 ・ものづくり産業への支援を始めとした中小企業の振興と企業誘致の促進 ・地域資源を活かした6次産業化・農商工連携の推進 <p>○ 道外からのU・I・Jターンの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住促進のための効果的な情報発信 ・移住促進に向けた相談サポート ・テレワーク環境整備の促進 ・サテライトオフィス設置の促進 	(道、市町村、民間)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良農地の維持や農業生産性の向上を図るための農地整備の促進 <p>○ 健全な森林の整備と保全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する多面的機能を高度に発揮させるための森林整備 <p>○ 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業生産活動や水産物流通の拠点となる漁港・漁場の整備促進
---	--	---	------------	---

道	<p>農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト</p> <p>後志地域は、米、畑作物、野菜、果樹、畜産など地域の特色を活かした農業、カラマツ、トドマツを主体とした森林資源の循環利用に向けた林業・木材産業、サケ、ホッケ、ウニ、ナマコなど多彩な水産物が水揚げされる水産業が基幹産業となっているものの、後継者不足や高齢化、所得の減少が進んでいます。</p> <p>そのため、担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進していきます。</p> <p>■推進エリア 後志地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高品質で収益性の高い農産物の栽培及びICTを活用した省力化技術の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物の導入 ・ICTを活用した省力化技術の普及 ・鳥獣被害防止の推進 ○ 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・醸造・マーケティング等の技術の向上 ○ 日本海漁業振興を図るためのナマコやホタテなどの増養殖 <ul style="list-style-type: none"> ・ナマコやホタテなどの増養殖の推進 ・トドなどの海獣による漁業被害防止対策の推進 ・密漁監視体制の強化 ○ 磯焼け地帯の未利用資源であるウニの身入り改善等による付加価値向上及び安定供給体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・海域特性に応じた効率的・効果的な栽培漁業の推進 ・天候に左右されない蓄養の体制整備の推進 ・トドなどの海獣による漁業被害防止対策の推進 ・密漁監視体制の強化 ○ 全道屈指の強度を持つ「ようていカラマツ」の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進 ・地域の特性に応じた森づくりの推進 ・地材地消の推進 ○ 多様な農林水産業の担い手の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成・確保 ○ 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の発掘・磨き上げ ・安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上 ・「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進 ・地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進 ・官民協働による国内外でのプロモーションの展開 	<p>(国、道、市町村、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・水田・畑の整備推進 ○ 農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業用施設の機能回復 ・地すべり防止施設などの整備推進 ・河川などの治水施設の整備推進 ○ 健全な森林の整備と保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・伐採跡地への植栽や間伐などの促進 ○ 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港、増養殖場などの整備促進 ○ 高規格道路の整備 ○ 物流ネットワーク形成のための道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点へのアクセス道路の整備促進
---	--	---	-------------------------	---

道	<p>「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト</p> <p>日高地域は全国生産の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、コンブ、鮭（銀聖）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されています。また、人工林の大半を占めるカラマツ・トドマツが利用期を迎えています。このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組みます。</p> <p>■推進エリア 日高地域</p>	<p>○ 農林水産物の生産振興対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物の生産拡大による農業経営の安定化 ・クリーン農業など付加価値の高い農業生産の推進 ・適切な森林整備に伴い産出される木材の高付加価値化の推進 ・管内農水産物に係る6次産業化・ブランド化等の高付加価値化 ・安定した収益が見込める魚種による栽培漁業の推進 ・ウニ漁業の生産安定化に向けた対策の推進 ・鳥獣被害防止対策の推進 <p>○ 「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発力・マーケティング力強化 ・「ひだか」製品の販路拡大 ・「ひだか」製品のプロモーション <p>○ 強い馬づくりに向けた軽種馬生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い馬づくりのための生産振興支援 ・軽種馬経営の構造改革に向けた取組支援 ・ホッカイドウ競馬運営への取組支援 	(国、道、町、民間)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁村づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港整備 ○水産資源の増大等に向けた施設づくり <ul style="list-style-type: none"> ・増殖場の造成、漁場の整備 ○健全な森林整備と保全の推進 ○高規格道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道の整備促進
---	---	---	------------	---

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 本道経済をリードする産業の活性化
 - ・ものづくり産業や食関連産業等の集積の促進や産学官金連携等による産業の創出・育成
 - ・北海道食品機能性表示制度（愛称：ヘルシーDo）などを活用した食品加工分野での高付加価値化、販路拡大
 - ・地域の特性を活かしたものづくり産業人材の確保・定着の促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
<p>国</p>	<p>産業を支える人流・物流ネットワーク整備プロジェクト</p> <p>産業の活性化として、農水産品、食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化するため、生産地や観光地、消費地、空港・港湾を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンクの解消等、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進するとともに、新幹線、空港及び港湾の国内外と一体となった円滑な交通体系の構築を目指します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト ○脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト</p>	<p>○ 内外との交流基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の航空ネットワークを強化するための空港整備を実施 ・国際物流の機能強化や安定性の確保を図るため、国際物流ターミナルの整備を推進 ・基幹的ネットワークの整備 ・内外との物流基盤の整備 ・物流機能の強化や地域の産業競争力を強化する施設整備を推進 ・北極海航路活用のための取組 	<p>(国・道・港湾管理者)</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道央圏連絡道路 中樹林道路 ・一般国道12号 峰延道路 ・一般国道230号 定山溪拡幅 ・一般国道275号 江別北道路 ・一般国道452号 盤の沢道路 ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討 <p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港 誘導路複線化事業
		<p>○ 規格の高い道路ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ高規格道路等の広域交通ネットワークの整備 	<p>(国)</p>	<p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倶知安余市道路（倶知安～共和） ・倶知安余市道路（共和～余市） ・一般国道229号 島牧防災 ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
		<p>○ 基幹ネットワーク道路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拠点、物流拠点等と高規格道路等を結ぶ幹線道路の整備推進 ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 	<p>(国・道・市町村)</p>	<p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業の推進 ・石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業の推進 ・小樽港中央地区予防保全事業の推進
		<p>○ 既存高速道路ネットワークの有効活用・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートインターチェンジの整備促進 	<p>(国・市町村・ネクスコ)</p>	
		<p>○ 渋滞対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道渋滞対策協議会において特定された主要渋滞箇所について検討・対策の実施 	<p>(国・札幌市・ネクスコ)</p>	
		<p>○ 観光産業基盤の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サイクルツーリズム」など観光地域づくりの取組を「観光地経営」の視点に立って進めるため、地域の観光振興を戦略的に推進する活動を支援 	<p>(国)</p>	<p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） ・一般国道274号 清瀬防災 ・一般国道453号 蟠溪道路 ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港） ・安定的・効率的な国際海上コンテナ輸送網の形成の促進（苫小牧港、室蘭港） ・物流機能を強化する物流ターミナルの整備（苫小牧港、室蘭港） ・物流機能の安定性を強化するための防波堤の整備（白老港、浦河港） ・北極海航路の航路実態の把握

道	<p>脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト【再掲】</p> <p>胆振地域は、鉄鋼や自動車関連などの「ものづくり産業」が集積する産業拠点が、国際拠点港湾や近隣に道内最大の空港を有した本道経済をリードする地域である一方、豊かな自然環境に恵まれ、太陽光や風力、バイオマス、地熱といった豊富に賦存する多様なエネルギー源の活用ほか、水素の活用や二酸化炭素の分離・回収・貯蔵に関する実証試験など、脱炭素型社会の実現に向けた取組を積極的に進めている地域です。</p> <p>こうした胆振の地域特性を活かし、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組みます。</p> <p>■推進エリア 胆振地域</p>	<p>○ 多様なものづくり産業拠点の形成促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり産業拠点の重層化 自動車関連企業などの立地促進 脱炭素社会構築を通じた新たな産業・雇用の創出 <p>○ 産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統、先端技術の集積等の地域の強みを活かした産業の振興 脱炭素社会構築を通じた新たな産業の育成・振興 恵まれた物流アクセス環境を活かした移輸出拡大 <p>○ 再生可能エネルギーの普及や自然環境の保全などによる脱炭素化への取組促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光、風力などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用に向けた機運醸成 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換に向けた普及啓発 地域住民や企業との協働による自然環境の保全に向けた取組の促進 計画的・効率的な造林や間伐、地域材の利用拡大など森林資源の循環利用の推進 	<p>(国、道、市町村、民間、NPO)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 物流ネットワーク形成のための道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路と一体となった道路網の整備促進 ○ 産業拠点の形成に向けた施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 地域の優位性を活かした企業立地を一層促進するための基盤整備 ○ 自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ○ 健全な森林の整備と保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> 森林の有する多面的機能を高度に発揮させるための森林の整備促進
---	---	---	-------------------------	---

【交流、歴史・文化 関連プロジェクト】

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 多彩な地域資源を活用した観光の振興
 - ・感染症対策にも配慮し、自然、食、スポーツ、温泉、産業遺産、ジオパークなど地域資源を活かした魅力ある観光地づくりのより一層の推進
 - ・アドベンチャータラベルやワーケーションの推進、北海道ボールパークの開業など切れ目なく続くビッグプロジェクトを契機とした新たな観光需要に対応した受入体制整備、広域観光の促進、メディアやSNSなどを活用した地域の観光情報や魅力の発信、体験・滞在・通年型観光の推進
 - ・観光ビジネス人材の育成や、標記の多言語化など外国人向けの観光メニューづくりと外国人観光客の受入体制の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	<p>世界水準の魅力ある観光地づくりプロジェクト</p> <p>道央広域連携地域の魅力的な自然、景観、食、文化等の観光資源を活かし、世界水準の魅力ある観光地づくりを進めるため、広域的な連携による観光地のネットワーク化、広域的な観光周遊ルートの形成、国内外の旅行者の受入環境の整備等による観光関連産業の促進を図ります。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p>	<p>○ 国際競争力のある観光地づくりと地域間の連携等を通じたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する外国人観光客が安心して自由に旅行ができる道路標識や観光案内板等の多言語表記 ・冬季の快適な歩行空間の確保や移動性の向上などのバリアフリー化や多様な観光客が安心できるユニバーサルデザインの推進 ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの支援 ・水産資源を活用した漁業体験学習等、地域マリンビジョンの推進 ・新鮮な地元食材を活用した「食」と「観光」の一体化による魅力ある観光地づくり ・観光拠点間相互の連携強化と広域周遊及び体験・長期滞在型観光の形成 ・「道の駅」の機能と魅力の向上 ・地域の特性や観光資源を生かした観光交流の促進 ・地域と連携した札幌の雪道の歩き方についての情報発信 ・みたとオアシス等と連携したみたとを活用した交流拠点の形成 ・外国人旅行者の受入環境整備によるゲートウェイ機能の強化 ・石狩川流域におけるインバウンドを中心とした長距離サイクリングルートの形成 ・各種インフラ施設を活用したインフラツーリズムの推進 ・石狩川流域における広域サイクリングネットワークの形成 ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進 	<p>(国・道・市町村・港湾管理者・民間)</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道央圏連絡道路 中樹林道路 ・自転車ネットワーク整備の更なる強化やサイクルルート情報の充実化 <p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港 誘導路複線化事業 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わが村は美しくー北海道」運動の実施（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道”みりょく”発信プロジェクト」の実施

	<p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト ○地域の魅力や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト ○石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト ○国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト ○住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト ○「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト 			<p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倶知安余市道路（倶知安～共和） ・倶知安余市道路（共和～余市） ・サイクルルート情報の充実化 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小樽港中央地区予防保全事業（クルーズ客船）の推進 <p>【水産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄特定漁港漁場整備事業（古平・美国・寿都地区）の推進 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わか村は美しくー北海道」運動（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など） <p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシスの活動支援（苫小牧港、室蘭港） ・大型クルーズ船の受入環境の整備（室蘭港） ・予防保全事業（室蘭港・苫小牧港） <p>【水産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄特定漁港漁場整備事業（追直・登別・三石・様似・庶野地区） <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わか村は美しくー北海道」運動（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など） <p>【地域振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光振興に資する活動に対する魅力ある公的施設・インフラの開放 ・白鳥大橋を活用したインフラツーリズム
--	--	--	--	---

道	<p>アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト</p> <p>ウボボイ（民族共生象徴空間）の開設により、国内外からの観光客の増加が見込まれることから、胆振・日高地域が連携し、ウボボイの開設効果を最大限に活かしていく必要があります。</p> <p>このため、アイヌ文化を核とした胆振・日高地域の魅力ある地域資源を一体的に発信し、相互に観光誘客を図る広域観光の促進により、関係人口の創出・拡大を図ります。</p> <p>■推進エリア 胆振地域、日高地域</p>	<p>○ 胆振・日高地域が有する地域資源の魅力を発掘・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> アイヌ文化などの地域の歴史・文化の理解・体験機会の創出 2つのユネスコ世界ジオパーク（洞爺湖有珠山、アポイ岳）のさらなる魅力の向上 日本最大の軽種馬生産地域としての魅力の向上 モニターツアーの実施などによる新たな地域資源の発掘 豊かな大地と海の食材など地域産品を活用した食のブランド力向上 <p>○ 地域の強みの国内外発信等による新たな人の流れの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ウボボイ開設を契機とする誘客及び広域周遊の促進 アイヌ文化やジオパークなどの地域の歴史・文化をテーマとした教育旅行の誘致 海岸線や湖畔、牧場地帯などの豊かな風景を楽しむサイクルツーリズムの促進 支笏洞爺国立公園・日高山脈襟裳国定公園の魅力や登山情報の発信 	<p>（国、道、市町村、民間、NPO）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光拠点へのアクセス道路の整備
---	--	--	-------------------------	--

道	<p>地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト</p> <p>空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有し、近年では、美しい田園風景を活かしたサイクルツーリズムなども実施されています。</p> <p>こうした地域資源を引き続き活用して、魅力の積極的な発信や食と観光の振興を図り、北海道ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進します。</p> <p>■推進エリア 空知地域</p>	<p>○ 道内外へのPRによる交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道空知地域創生協議会による「空知」の知名度向上に向けた道内外における戦略的な情報発信 農村ツーリズムや産業観光などの強みを活かした修学旅行・学習旅行等の誘致促進 メディアやSNS等を活用した効果的な情報発信などによる関係人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> 拡大や道内外からの誘客促進 米をはじめ野菜、花などの空知産農産物、加工品のブランド化、販路拡大に向けた情報発信やPR活動の実施 都心部での感染症リスクに対する回避や田園回帰などの志向の高まりを踏まえ、地域の魅力を活かしたライフスタイルの発信などによる移住・定住の促進 ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 都市圏からの地理的優位性を活かしたマイクロツーリズムの推進 <p>○ 豊かな地域資源や地域に根ざした食の魅力を活かした観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 空知産ワインや日本酒等に合う料理など地元食材を活用した食の魅力づくり 地場農産物や炭鉱グルメなど地域に根ざした食の魅力を活かした食観光の推進 都市圏からの地理的優位性を活かしたマイクロツーリズムの推進 交通拠点と観光拠点を結び交通ネットワークの充実にに向けた取組の促進 感染症対策にも配慮した地域における観光地づくりの推進や外国人観光客の受入体制の整備 サイクルツーリズムなどの地域資源を活かした体験型観光の推進 農村ツーリズムや産業観光などの強みを活かした修学旅行・学習旅行等の誘致促進 <p>○ 魅力ある地域資源の活用や効果的な情報発信などによる関係人口の創出・拡大や道内外からの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道空知地域創生協議会による「空知」の知名度向上に向けた道内外における戦略的な情報発信 移住・定住に向けた、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する団体との情報共有と一体的な情報発信及び移住相談・体験の促進 ワインをはじめ、炭鉱遺産や花などの豊かな地域資源を活かした誘客の促進 メディアやSNS等を活用した効果的な情報発信などによる関係人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> 拡大や道内外からの誘客促進 ワーケーションやテレワークなど多様で柔軟な働き方への受入体制の確保 都市圏からの地理的優位性を活かしたマイクロツーリズムの推進 	<p>(国、道、市町、民間、試験研究機関)</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光拠点へのアクセス道路の整備促進 自転車道や案内標識の整備促進 Wi-Fiの整備促進
---	--	--	---------------------------	--

道	<p>石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト</p> <p>道内をはじめとした国内外の関係人口の拡大を図るため、その立地の良さから都市と自然とを十分に満喫することができる石狩地域の特性を活かして、地域や観光事業者等との連携により魅力ある観光情報を発信、大型集客施設の建設や大規模イベントの開催などによりさらなる発展が期待される地域の魅力を発信しながら、観光客を石狩地域へ誘引する取組を進める。</p> <p>また、様々な観光客の満足度向上等に向けたおもてなし環境の整備やワーケーションなどを取り入れた新たな観光メニューの開発や地域の食のブランドづくりを推進します。</p> <p>■推進エリア 石狩地域</p>	<p>○ 石狩観光スタイルの推進に向けた魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連携体制の強化による観光の推進 ・道内をはじめとした国内外からの誘客の促進に向けたプロモーション活動や情報発信と来道観光客を石狩地域へ誘引する取組 ・大型集客施設の建設や大規模イベントの開催に伴う地域の魅力発信 <p>○ 様々な観光客に向けたおもてなし環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の受入体制の整備・充実 ・観光ホスピタリティの向上と満足度の高い観光地づくりの促進 <p>○ 新たな観光メニューの開発や地域の食のブランド化の推進と魅力発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然、文化、スポーツ、食を楽しむ体験型コンテンツ等新たな観光メニューや観光ルートの開発 ・地域の食のブランドづくりの推進と魅力発信 	(道、市町村、民間)	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港の機能強化、施設整備促進 ・高規格道路の整備促進 ・大規模自転車道の整備促進 ○ 北海道新幹線の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・札幌までの整備促進
---	--	--	------------	--

道	<p>国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト</p> <p>後志地域は、リゾートエリアを中心としたウィンタースポーツや夏季のサイクリング、ラフティングなどのアクティビティや優れた景観などにより、国内外から多くの観光客が訪れる本道を代表する観光エリアとなっています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の観光需要が大きく減少しています。また、日帰り観光客の割合が多いことや観光客の季節偏在という課題の解決、今後の新幹線開業や高規格道路整備による新たな交通ネットワークを見据えた取組が求められています。</p> <p>このため、国内客の呼び込みの拡大やポストコロナの観光需要回復を見据えたインバウンド受入体制の整備を推進するとともに、アドベンチャートラベル等の新たな観光資源の発掘・磨き上げや、地域内で作られる豊かな食資源を活かしたガストロノミーツーリズム等による広域観光や滞在・通年型観光の推進に取り組み、観光客が安心して楽しむことができる持続可能な観光地を目指していきます。</p> <p>■推進エリア 後志地域</p>	<p>○ 後志地域の食資源を活用したガストロノミーをテーマとした広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携を図りながら「食」を活かした魅力ある観光地づくり ・広域観光の推進 <p>○ リゾートエリアを中心としたウィンタースポーツのほか、管内各地で取組を進めている夏季のサイクリング、ラフティングなどのアドベンチャートラベルの推進による地域の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド受入体制の充実 ・官民協働による国内外でのプロモーション展開 ・自然・景観の保全と活用による質の高いリゾート地域の形成 <p>○ 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊地（ハブ）と周辺の地域（サテライト）が連携し、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進 ・シーニックバイウェイ北海道の推進 ・地域交通ネットワークの充実・確保 ・広域観光の推進 ・インバウンド受入体制の充実 ・自然・景観の保全と活用による質の高いリゾート地域の形成 <p>○ 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド受入体制の充実 ・商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成 	<p>（国、道、市町村、民間、NPO）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光を支える二次交通の整備 ○ 高規格道路の整備 ○ 北海道新幹線の整備促進 ○ 自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した河川・砂防施設の整備促進 ○ 自然公園における利用施設の整備など自然とのふれあいの場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園の整備促進
---	---	---	-------------------------	---

道	<p>住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト〔再掲〕</p> <p>胆振地域には、北海道いぶり五大遺産（洞爺湖有珠山ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜、炭鉄港）、ウボボイ、日本有数の温泉地など特色ある豊かな地域資源があります。こうした地域の強みを活かし、関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大に取り組めます。</p> <p>また、地域の未来を支える人材の確保・育成や、胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりを推進します。</p> <p>■推進エリア 胆振地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を活用した関係人口の創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な地域資源（北海道いぶり五大遺産、ウボボイ、食資源等）のさらなる磨き上げ及び情報発信の強化 ・ウボボイ開設効果の持続発展と広域連携による周遊観光の促進 ・北海道いぶり五大遺産の活用による教育旅行の誘致やアドベンチャートラベルなどの体験型観光の促進 ・いぶり型ワーケーションの取組による関係人口の創出・拡大 ・地域おこし協力隊等との連携による移住・定住の促進 ・岩手県三陸地域との交流を通じた取組の推進 ○ 地域の豊かな食材の魅力発信や販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術の利活用による新鮮・多彩な一次製品の生産・流通の促進 ・特色ある食材を活かした商品・メニュー開発及びブランド化の推進、国内外への販路拡大 ○ 地域の未来を支える人材の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携した人材確保対策の推進、就業体験機会等を通じた地域産業の魅力発信 ・管内企業の技術力の情報発信等によるものづくり産業の担い手確保・育成 ・就業しやすい環境づくりによる農林水産業の担い手確保・育成 ・すべての子どもたちが健やかに育つことができる環境づくり ・ふるさとへの誇りと愛着を育むふるさと教育の推進 ○ 胆振東部地震からの復旧・復興の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の持続的な振興をはじめとした、復旧・復興方針に基づく取組の推進 ・移住・定住の取組の推進や、地域資源の磨き上げ・活用による被災地域への人の呼び込み強化 	<p>（国、道、市町村、民間、NPO）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・水田・畑・草地や農業用施設の整備推進 ○ 農地や農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業用施設の機能回復 ・農地及び農業用施設の災害を未然に防止するための施設の整備推進 ○ 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港、漁場などの整備促進 ○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス道路や休憩施設の整備
道	<p>「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト</p> <p>日高地域は、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパークのアポイ岳や、国立公園化が予定されている日高山脈襟裳国定公園、日高山脈から襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有しています。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっています。</p> <p>これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図ります。</p> <p>■推進エリア 日高地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を組み合わせた新たな広域観光ルートの創出及びPR ・観光関連の民間事業者間の連携促進 ○ 豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を活かした観光ブランドの向上 ・地域特性を活かした新たな観光資源の掘り起こし ○ 国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント、キャンペーンなどによるPR活動の実施 ・SNSなどインターネットを活用した効果的な情報発信 	<p>（国、道、町、民間）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高規格道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道の整備促進 ○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道の整備促進 ・道道の整備促進

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 地域固有の文化や歴史の継承・活用
 - ・ウボボイ（民族共生象徴空間）や日本遺産に認定された「炭鉄港」をはじめ、アイヌ文化や産業遺産などの地域固有の文化、歴史、産業などを活かした取組の推進と理解の促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
<p>国</p>	<p>アイヌ文化の振興等プロジェクト</p> <p>アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解を促進するとともに、将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展を図り、「ウボボイ（民族共生象徴空間）」を含むアイヌ文化の復興等に関する全道的なネットワークの構築を図るとともに、アイヌの伝統的工芸品産業の振興等やアイヌに関する総合的かつ実践的な研究を支援します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト ○日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト 	<p>○ 将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展</p> <p>○ アイヌ文化の復興等に関する全道的なネットワークの構築</p> <p>○ アイヌに関する総合的かつ実践的な研究支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンター「ウボボイ（民族共生象徴空間）」の整備管理運営に関する取組の推進 ・アイヌ文化の振興 ・アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生 	<p>（国・市町村・民間）</p>	<p>北海道開発局 【地域振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウボボイ（民族共生象徴空間）への誘客支援によるアイヌの歴史・文化等の理解促進 <p>室蘭開発建設部 【河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化の伝承に資する河川空間の整備を継続

道	<p>日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト</p> <p>空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り上げられた北海道近代化のストーリーである「炭鉄港」が、2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられています。</p> <p>こうした中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資産を生かした取組を推進し、交流人口の拡大を図ります。</p> <p>■推進エリア 空知地域、後志地域、胆振地域</p>	<p>○ 次代に「繋ぐ」炭鉄港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド人材の育成とネットワークの構築 ・次世代への伝承 ・遺産の保全に関する取組の促進 <p>○ 地域で「稼ぐ」炭鉄港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊の促進 ・関連商品の開発・造成 ・受入環境の整備 	<p>（国、道、市町、民間、NPO）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス道路の整備促進 ・統一的なイメージ形成に資する案内標識などの情報基盤の整備促進
---	--	--	------------------------	--

道	<p>道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト</p> <p>道内には、国内最多の5つの日本ジオパーク（洞爺湖有珠山、アポイ岳、白滝、三笠、とかち鹿追）があり、このうち洞爺湖有珠山とアポイ岳がユネスコ世界ジオパークに認定されているほか、十勝岳地域、上川中部地域が、日本ジオパークの認定を目指して活動しています。</p> <p>ジオパークは重要な地域資源として、その保護に取り組むことだけでなく、歴史や地質など各地域の特色を活かした、ツーリズムなど観光振興や地域振興に繋がることが期待されるとともに、環境教育のほか、火山災害などの防災教育における教材として活用されることが求められています。</p> <p>このため、各地域の連携を強め、魅力や学術的価値の積極的な発信を行うことや環境教育や防災教育の充実を図る等、道内ジオパーク間のネットワークの発展に向けた取組の推進に努めます。</p> <p>■推進エリア 胆振地域、空知地域、日高地域</p>	<p>○ 各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオサイトや食の魅力発信、体験ツアーの実施 ・ジオの恵みやストーリー性を活かした関連商品・サービスの創出 ・ジオパークを題材とした環境教育・防災教育・ふるさと教育の推進 ・ジオパークを舞台としたスポーツ大会など特色あるイベントの開催 <p>○ 道内ジオパーク間のネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道、関係市町村、企業、NPO等の情報共有体制の整備 ・ジオパークに携わる多様な主体の学びの機会の創出 <p>○ 道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・関係人口の創出・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内ジオパークに係る総合的な情報発信 ・歴史や文化をまとめた北海道のジオストーリーの発信 ・北海道のジオストーリーを活用した道内ジオパーク周遊のしかけ作り ・国内外からの誘客促進とガイドや団体の育成等の受入体制の整備促進 	<p>（道、市町村、民間、NPO）</p>	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス道路の整備
---	--	---	-----------------------	---

道	<p>縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト</p> <p>令和3年（2021年）7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録決定され、北海道初の世界文化遺産が誕生しました。</p> <p>地域にはこの世界遺産となった遺跡の他にも、北海道唯一の国宝である中空土偶をはじめとする数多くの縄文の出土品や遺跡が見つっております。</p> <p>これら先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく必要があります。</p> <p>このため、市町村をはじめ、関係団体や地域住民等と連携を図りながら貴重な資源を最大限活用した取組</p> <p>■推進エリア 石狩地域、胆振地域</p>	<p>○ 縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関等へのポスター掲示やSNS等を活用した情報発信 ・パネル展の実施のほか、イベントやメディアを活用した普及啓発 ・若年層を中心とした縄文文化の魅力や価値の理解促進 ・地域の縄文展示施設の利用促進 <p>○ 遺産を活用した誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文コンテンツを活用した観光への利活用の推進 ・地域資源を活用した商品開発・販売の促進 	<p>（国、道、市町村、民間）</p>	
---	--	---	---------------------	--

【基盤づくり 関連プロジェクト】

《地域のめざす姿》

文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 交通基盤整備の促進
 - ・地域生活や産業及び快適な広域観光を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	<p>「生産空間」の維持・発展と多様な人材の確保・対流を支える地域づくりプロジェクト【再掲】</p> <p>人口減少・高齢化が急速に進展する中、地方部における定住環境を確保し、「生産空間」から都市部に至るまで人々が長期にわたって住み続けられる北海道型地域構造の保持形成のため、地方部の市街地、圏域中心都市を結び交通・情報ネットワークを構築し、生活機能の維持・確保を図ります。</p> <p>また、地域の価値創造力の向上のため、多様な人々の交流やコミュニケーションを促進し、地域づくり人材の発掘・育成を進めます。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p>	<p>○ 活力ある地域を支援する交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産空間、市街地、基礎圏域中心都市を結び高規格道路等の広域交通ネットワークの整備 ・住民の日常生活に必要な医療、買物、教育等の生活サービスにアクセスするための幹線道路の整備推進 ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 ・交差点の右折だまりといった交通安全施設の整備等による交通事故対策の推進 	（国、道、市町村）	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道央圏連絡道路 中樹林道路 ・一般国道12号 峰延道路 ・一般国道230号 定山溪拡幅 ・一般国道275号 江別北道路 ・一般国道452号 盤の沢道路 ・交通安全対策事業の実施 ・協働型道路マネジメントの実施
		<p>○ 冬期交通の移動性及び信頼性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪国の生活を支える幹線道路交通の安全の確保 ・冬期間における高齢者の安全な暮らしを支える道路管理の推進 	（国）	<p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倶知安余市道路（倶知安～共和） ・倶知安余市道路（共和～余市） ・一般国道229号 島牧防災 ・交通安全対策事業の実施 ・協働型道路マネジメントの実施 <p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） ・一般国道274号 清瀬防災 ・一般国道453号 蟠渓道路 ・交通安全対策事業の実施 ・協働型道路マネジメントの実施

<p>国</p> <p>産業を支える人流・物流ネットワーク整備プロジェクト〔再掲〕</p> <p>産業の活性化として、農水産品、食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化するため、生産地や観光地、消費地、空港・港湾を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンクの解消等、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進するとともに、新幹線、空港及び港湾の国内外と一体となった円滑な交通体系の構築を目指します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p>	<p>○ 内外との交流基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の航空ネットワークを強化するための空港整備を実施 ・国際物流の機能強化や安定性の確保を図るため、国際物流ターミナルの整備を推進 ・道央圏港湾における広域連携体制の整備・推進 ・基幹的ネットワークの整備 ・内外との物流基盤の整備 ・物流機能の強化や地域の産業競争力を強化する施設整備を推進 ・北極海航路活用のための取組 	(国・道・港湾管理者)	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道央圏連絡道路 中樹林道路 ・一般国道12号 峰延道路 ・一般国道230号 定山溪拡幅 ・一般国道275号 江別北道路 ・一般国道452号 盤の沢道路 <p>北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討</p> <p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港 誘導路複線化事業
	<p>○ 規格の高い道路ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ高規格道路等の広域交通ネットワークの整備 	(国)	<p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俱知安余市道路（俱知安～共和） ・俱知安余市道路（共和～余市） ・一般国道229号 島牧防災 <p>北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討</p> <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業の推進 ・石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業の推進 ・小樽港中央地区予防保全事業の推進
	<p>○ 基幹ネットワーク道路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拠点、物流拠点等と高規格道路等を結ぶ幹線道路の整備推進 ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 	(国・道・市町村)	
	<p>○ 既存高速道路ネットワークの有効活用・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートインターチェンジの整備促進 	(国・市町村・ネクスコ)	
	<p>○ 渋滞対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道渋滞対策協議会において特定された主要渋滞箇所について検討・対策の実施 	(国・札幌市・ネクスコ)	<p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） ・一般国道274号 清瀬防災 ・一般国道453号 蟠溪道路 <p>北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討</p> <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港） ・安定的・効率的な国際海上コンテナ輸送網の形成の促進（苫小牧港、室蘭港） ・物流機能を強化する物流ターミナルの整備（苫小牧港、室蘭港） ・物流機能の安定性を強化するための防波堤の整備（白老港、浦河港） ・北極海航路の航路実態の把握

<p>国</p> <p>強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤づくりプロジェクト〔再掲〕</p> <p>気候変動等に伴う異例の水害・土砂災害の局地化・集中化・激甚化や、地震、津波、火山噴火等による被害に対応するため、ハード・ソフト対策を効果的に組み合わせることで効率的な防災・減災対策を推進します。</p> <p>また、国家的規模の災害時における後方支援等のバックアップ機能の確保を推進するとともに、交通基盤等の整備と併せて、今後急速に進むインフラの老朽化対策への戦略的な取組を推進します。</p> <p>■推進エリア 道央広域連携地域</p>	<p>○ 災害等に対応した道路環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替性確保のための高規格道路等の整備 国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消 安全・安心な道路交通の確保のための効率的な防災・減災対策の推進 橋梁、トンネル等の道路施設の老朽化対策の推進 避難道路・避難場所の確保 冬季の安全な道路通行を確保するために、豪雪・雪崩対策や地吹雪等による視程障害を防止する対策を推進 	<p>（国・道・市町村・ネクスコ）</p>	<p>札幌開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道央圏連絡道路 中樹林道路 一般国道452号 盤の沢道路 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施
	<p>○ 港湾施設の戦略的な維持管理・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の老朽化対策 	<p>（国・港湾管理者）</p>	<p>【空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 滑走路の液状化対策 新千歳空港 地下構造物の耐震補強
	<p>○ 北国の歴史的建造物の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> 土木学会選奨土木遺産・北海道遺産である歴史的防波堤等の機能を確保しつつ、次世代への継承を図る（小樽港） 	<p>（国・小樽市）</p>	<p>小樽開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 俱知安余市道路（俱知安～共和） 俱知安余市道路（共和～余市） 一般国道229号 島牧防災 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施
	<p>○ 大規模地震及び津波等に対する防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生時の緊急輸送拠点機能の確保と航空ネットワークの維持、北海道内における経済活動の継続性確保に必要な空港施設の耐震対策の強化 	<p>（国）</p>	<p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小樽港本港地区防波堤整備事業の推進 岩内港老朽化対策事業の推進 <p>室蘭開発建設部</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高自動車道 厚賀静内道路（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】） 一般国道274号 清瀬防災 一般国道453号 蟠溪道路 電線共同溝事業の実施 防災・減災対策の実施 メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施 橋梁、トンネル補修の実施 <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の安全・安心な生活を確保する臨海部防災拠点の整備（苫小牧港） 港湾利用の安全性と効率性を確保する防波堤の整備（白老港、浦河港） 道央圏港湾BCP、太平洋側港湾BCPの推進 港湾機能の維持を図るための防波堤等の延命化対策（室蘭港、苫小牧港、えりも港）